

神戸昇天教会月報

〒652-0015 神戸市兵庫区下祇園町39番7号 神戸昇天教会

牧師 小南 晃 電話 (078) 361-4490

http://nssk-kobeshoten.org/ FAX (078) 361-4539

口座振替 01110-2-10517

2018年3月 大齋節

大齋節第2主日・み言葉の礼拝 奨励 パウロ 宮永 好章

大齋節に入り早くも10日が過ぎました。皆さん今年の節制目標はしっかりとお持ちでしょうか？また目標にしっかりと向き合っているのでしょうか？

私自身はどうかと問われると誠に恥ずかしいことに、余り明確な目標も持たず、昼食を控えめにしようと思いつつ、毎日はきついなど、数日おきに実行している状態です。

以前は、大齋を迎える心構えがもう少し教会全体で持っていたように思いますが、如何でしょうか。

それはさて置き今年「宣教・牧会の10年」の折り返し点6年目に入ることを思い出そうと云う話をさせて頂きます。お話させて頂くネタ元は、1月末に届いた「管区事務所だより」です。

2011年に神戸教区宣教協議会が開催されたことを覚えて居られるかと思いますが、その翌年2012年管区での日本聖公会宣教協議会が開かれ「宣教・牧会の10年」の提言が生まれ、10年間すべての信徒、教役者、教会、教区が心を一つにそれぞれの場で、さまざまな形で「宣教・牧会」に取り組もうと決意表明をしました。これらの動きを受けて、その後、私たちの教会でも何度か宣教についての学びの機会が持たれました。

しかし、宣教・牧会というのは難しいな、やはり専門家の牧師さんに頑張ってもらわなければならないのだらうな、と云うことで私たちの意識から遠のいているのではないで

しょうか。

小林主教は1月に開催された教区事務所会議で、「信仰の発露としての宣教を位置付けて教区の宣教に邁進したい。教区事務所はそのための器として励んで頂きたい。」と教示されたことと教区事務所だよりに記されています。事務所のかなめである教務局長は、わたしたちの牧師である小南司祭です。私たち一人一人が教会に課せられた「牧会・宣教」に目を向けたいと思います。

アングリカン・コミュニオンによって示された宣教の5指標があります。しばらくの間、集會室に掲示されていましたが、覚えて居られるでしょうか？

宣教の5指標とは、

- ・神の国のよき知らせを宣言すること
- ・新しい信徒を教え、洗礼を授け、養うこと
- ・愛の奉仕によって人々の必要に応答すること
- ・社会の不正な構造を改革し、あらゆる暴力に反対し、平和と和解を追求すること
- ・被造物の本来の姿を守り、地球の生命を維持・再生するために努力すること

の五つの指標です。

また、教会が教会として持つべき5要素があるとの事です。

教会の5要素とは

- ・ケリュグマ：み言葉に聴き、伝えること

- ・ディアコニア：世界、社会の必要に応え仕えること
- ・マルトウリア：生活の中で福音を具体的に証しすること
- ・レイトウルギア：祈り、礼拝すること
- ・コイノニア：主にある交わり、共同体となること

の五つだそうです。

管区事務所だよりに宣教担当者の集いの特集記事として、この5指標、5要素について西原廉太司祭、谷川誠宣教主事の文書が掲載されて居るのを目にして、今一度いや何ども教会の宣教に就いてみんなで考えたいと感じた次第です。

西原司祭に依れば、宣教の5指標を用いての活動には前提として教会の5要素が満たされるべきとされています。教会にとって祈り、礼拝することは必須です。

今日の聖書日課は、主のお命じになることにどこまでも従わなければならないというテーマが旧約、使徒書、福音書、共通に示されています。アブラハムのようにはとでも行えないと思いますし、福音書のペテロの行動は多分私もそうするであろうと思われま

す。とても出来そうにもないことで困惑します。でも何とかそのように努める力が与えられることを祈るばかりです。

イエス様は私たちに地の果てまで証し人となるようにと命じておられます。宣教活動に少しでも資することが出来るように、まずは、教会の5要素を満たすように、努めて礼拝に参加し、兄弟姉妹の交わりを深めることから始められれば、と願い今日の奨励とさせていただきます。

定例集會

日 午前7時 早朝聖餐式
 " 9時15分 教会学校
 " 10時30分 聖餐式・説教
 午後5時 夕の礼拝

火 午前10時30分 聖書研究会
 土 午前10時30分 教会掃除
 (ご奉仕をお願いします)